

28

2011年3月12日

提供: 佐藤寛法さん

3月12日 土曜日のあふれ
はじまりのごはん

震災の時、炊飯場
で炊き出しを仕切っ
ていました。
「ご飯も炊けない
単身者のために...」
か! いのきにかみ切の
髪にみじり、
今は会社の伝説です。
余震が来るたびにきりと
手に汗、たばこけた
ことなど、震災時の
ごはんのエピソードは
忘れません。



I could find rice
but not bread.
Ah how much
I wanted it!
Bread!

A part-time farmer
guy at work made a lot
of onigiri (rice balls)
and brought them for
us. I strongly felt the
sweetness of the rice,
and the strength of
farmers.

ラップ!
便利だ。
この時ほど
ありがたき巻きた
こはなのかも...

ごはんは食べれ
たけれど、
パンが手に入ら
なくて、食べたのは
パン!

兼業農家の
炊飯場のおじいちゃん:
たくさんおにぎりを
にぎって届けてくれた
お米の甘さと、
農家の強さまで
感じた。

神戸の記録
を見てラップを
買いこんでおい
役に立ったぞ
④

I had stored a lot of
cling wraps, having
seen records of Kobe.
They came in really
handy.

3/23頃、久し振りに
仕事、出勤途
中が流れたホテル
の合コン、¥1000と
¥1000美味だった。

ガスが通らなかった時は
スローで釜にお湯を
注ぎかけて、どうすいやらーん
を食べていました。
あ、たかひちを食べてた
で死ななかった。

パンが食べたいってtwitterで
呟いたら、友人がガスでパンを
焼いているお店からパンを買
ってきてくれました。
旧連立ビル、パン屋さんに重
た時、靴の2人前で走り切った
のは、さ、とっさ、か、た、です。

最悪、お米は
とがなくても大丈夫です。
ちねとゆかすかたは、
なまじか食べます。
水がなかったから。

[3月12日はじまりのごはん]のパネル/
"The First Meal After the Earthquake" Panels
2011年3月12日 / March 12, 2011
佐藤寛法 / Hiromichi Sato



WEB-JP WEB-EN DVD EXHIBIT